

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【公開番号】特開 2002-311933 (P2002-311933A)  
 【公開日】平成 14 年 10 月 25 日 (2002.10.25)  
 【出願番号】特願 2002-39442 (P2002-39442)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 G 5/00  
 G 0 6 F 3/153

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 X  
 G 0 9 G 5/00 5 1 0 V  
 G 0 6 F 3/153 3 3 3 A  
 G 0 9 G 5/00 5 5 5 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 15 年 6 月 24 日 (2003.6.24)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】発明の名称  
 【補正方法】変更

【補正の内容】  
 【発明の名称】映像装置

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更

【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1、第 2 の外部装置と接続可能な映像装置において、当該映像装置を識別するための I D 情報を記憶するメモリと制御回路とを備え、該制御回路は、外部装置が第 1 から第 2 の外部装置に切り換わった場合に、前記メモリ内の前記 I D 情報を外部へ送信するように制御することを特徴とする映像装置。

【請求項 2】

第 1 及び第 2 の外部装置のいずれかと接続可能な映像装置において、当該映像装置を識別するための I D 情報を記憶するメモリと制御回路とを備え、接続される外部装置が第 1 から第 2 の外部装置に切り換わることを示す信号が入力されると、前記制御回路は該信号に応答して、前記メモリ内の I D 情報を外部装置に出力するための制御動作を開始することを特徴とする映像装置。

【請求項 3】

第 1 及び第 2 の外部装置のいずれかとケーブルを介して接続可能な映像装置において、当該映像装置を識別するための I D 情報を記憶するメモリと、前記ケーブルが接続される端子と、該端子と接続され、前記映像装置と前記ケーブルとの接続を O N / O F F するスイッチと、制御回路とを備え、接続される外部装置が第 1 から第 2 の外部装置に切り換わることを示す切換信号が入力されると、前記制御回路は該切換信号に応答して、前記スイッチを O N から O F F にし、その後前記メモリ内の I D 情報を外部装置に出力するように制御を行うことを特徴とする映像装置。

【請求項 4】

外部装置と接続可能であり、該外部装置との通信が可能な映像装置において、当該映像装置を識別するためのＩＤ情報を記憶するメモリと制御回路とを備え、該制御回路は、前記映像装置と前記外部装置との接続状態が変化した場合に、外部装置との通信を初期化する処理を実行して前記メモリ内のＩＤ情報を外部装置に出力するように制御を行うことを特徴とする映像装置。

**【請求項５】**

前記通信の初期化処理は、外部装置を電源投入直後の状態にするための処理を含むことを特徴とする請求項４に記載の映像装置。